

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

施策名 (小項目)	その他事務管理(議会)	コード	作成者	役職	議会事務局次長
		06-01-09	氏名	金井 和宇	
			電話	0869-64-1803	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行財政運営
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	議員が、地方分権時代(自己決定・自己責任による地域運営)に対応するとともに、二元代表制の中での地方議会議員としての役割を認識し、政策に対する適正な判断や提言を行うことができるようになるため	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	議員の報酬、政務調査費への批判、議員定数の更なる削減の意見が依然としてある 議員は、その活動において議決権と執行権を常に意識しなければならない 市民に議員の役割を正しく認識していただかなければならない 議会を円滑に運営するためには、議員の議会運営に対する知識の充実が肝要 議員活動の環境を充実させなければならない	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	① 議会から発信する情報内容の充実に努め、効率的な伝達手段を模索する ② 議会広報紙「市議会だより」の紙面を分かりやすいものとする ③ 議会に関心を持つ市民(一定の傍聴者数)を確保し、さらに拡大させる ④ 議案の審査過程を市民に知らせるため、委員会記録の公開を検討する ⑤ 議員への情報提供を充実させる ⑥ 議会に対する市民意識調査を実施する	

④市民意識調査による施策の重要度・満足度

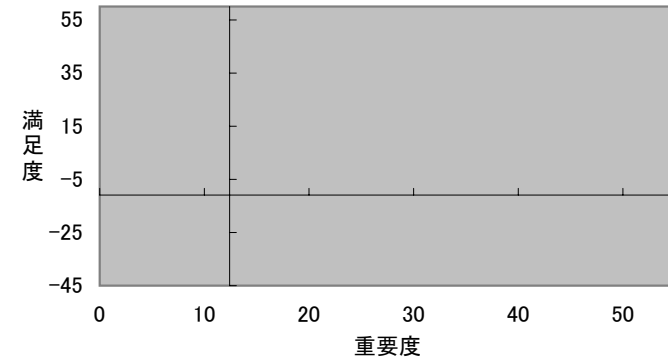
調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)			
満足度(%)			

<見直し領域>  
その施策や事業が必要か否かの検討が必要

<維持領域>  
現状の方向を継続

<検討領域>  
その施策や事業の存続の検討が必要

<強化領域>  
内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う



調査結果に対するコメント、市民の反応等	議会情報の提供を充実させるため、H19から単独発行に踏み切った市議会だよりは、93%弱の市民に認知されているものの、読んでいただいている方は60.5%であることから、議会だより編集委員会へ紙面の工夫などを働きかけ読んでいただける広報紙となるように努めたい。なお、議会を透明で身近なものにする情報提供には、議員自らによる議会報告会等の開催も効果的であると思われる。 議員定数については、次期一般選挙から26名を22名(4名削減)としたが、依然として定数削減を求める意見や報酬削減を求める意見がある。(H18調査では、議員数が多いと感じる方は66%)
---------------------	--

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23		
1 本会議、委員会情報の発信量向上	目標 %	50.0	50.0	50.0	55.0	60.0	60.0	市議会だよりの内容で議員の質問以外の情報提供の割合で測る
	実績 %	50.2	64.3	51.5				
	達成率 %	100.4	128.6	103.0				
2 市議会だより頁数の確保	目標 頁	20.0	25.0	66.0	80.0	80.0	80.0	市議会の情報発信量を年間頁数で測る 県内同規模市の平均発行頁数
	実績 頁	21.1	24.9	66.0				
	達成率 %	105.5	99.6	100.0				
3 政務調査費の透明性の割合向上	目標 %	-	80.0	80.0	80.0	90.0	100.0	政務調査費中、案分された費用で根拠が明示されている(透明なもの)割合
	実績 %	-	66.7	71.4				
	達成率 %		83.4	89.3				
4 本会議傍聴者数の向上	目標 人	130	170	200	240	240	240	年間傍聴者数の推移で議会への関心度を測る 県内同規模市の3年平均傍聴者数
	実績 人	200	541	286				
	達成率 %	153.8	318.2	143.0				

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20 当初予算		
				H17			H18			H19				H20 当初(直接事業費)	
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数			
1 市議会運営事業	B	本会議運営事務	法定事務	101	11,029	1.19	97	10,918	1.20	48	6,239	0.76	☆☆☆	\$\$\$	55
		委員会運営事務	法定事務	11	5,611	0.64	15	6,214	0.75	7	5,312	0.65	☆☆☆	\$\$	11
		その他会議運営事務	内部管理	0	2,470	0.27	0	1,352	0.15	0	268	0.03	☆☆	人件費のみ	0
		東備消防組合議会会議運営事務	法定事務	-	-	-	0	888	0.10	0	511	0.06	☆☆	人件費のみ	0
2 会議録作成運用事業	B	会議録作成事務	法定事務	4,259	4,480	0.58	3,236	4,146	0.52	2,359	3,387	0.42	☆☆☆	\$\$\$	3,092
		会議録検索システム関連事務	内部管理	870	286	0.04	776	56	0.01	676	75	0.01	☆☆	\$\$\$	716
		委員会録作成事務	法定事務	1,035	3,119	0.38	1,399	3,447	0.42	1,274	2,374	0.28	☆☆☆	\$\$\$	1,950
		その他会議録事務	内部管理	108	1,820	0.20	66	464	0.05	26	0	0.00	☆☆	\$\$	98
		東備消防組合議会会議録事務	法定事務	-	-	-	0	776	0.10	0	75	0.01	☆☆	人件費のみ	0
		正副議長秘書事務	内部管理	259	6,410	0.60	597	8,070	0.95	678	1,167	0.19	☆☆	\$\$\$	693
3 市議会庶務事業	C	議長交際費事務	内部管理	96	436	0.05	96	342	0.04	209	100	0.01	☆☆	\$\$	195
		議員報酬・共済事務	法定事務	280,460	2,138	0.28	184,336	2,090	0.27	158,794	916	0.16	☆☆	\$\$\$	159,903
		議員出張管理事務	内部管理	4,811	1,398	0.18	1,464	1,574	0.19	255	57	0.01	☆☆	\$\$	459
		会議施設運営管理事務	施設維持管理	62	850	0.10	0	855	0.10	202	0	0.00	☆☆	\$\$	2,167
		公用車運行管理事務	施設維持管理	47	867	0.10	232	345	0.06	34	205	0.04	☆☆	\$\$	313
		各種協議会負担金事務	法定事務	779	244	0.03	771	152	0.02	754	0	0.00	☆☆	\$\$\$	920
		議員履歴管理事務	内部管理	0	562	0.07	0	380	0.05	0	114	0.02	☆☆	人件費のみ	0
		法制事務	内部管理	0	480	0.05	0	597	0.06	0	350	0.04	☆☆	人件費のみ	0
		請願・陳情等取扱事務	法定事務	0	418	0.05	0	378	0.05	0	225	0.03	☆☆	人件費のみ	0
		職員研修事務	内部管理	262	244	0.03	342	929	0.11	333	524	0.07	☆☆	\$\$\$	194
		その他庶務事務	内部管理	353	590	0.06	305	928	0.10	282	3,393	0.47	☆☆	\$\$	384
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17			H18			H19			H20当初(直接事業費)		
				299,024	50,730	5.70	200,961	49,880	5.90	176,226	33,177	4.25	185,669		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
執行部の各課	議員への情報提供環境を充実させる	資料要求は直接議員が行えるものではないので、執行部側が提案者として議案審議等に必要と思われるような資料をタイムリーに提供することで審議効率は向上する。
	議決権と執行権をよく認識する	議員個人には執行部に対する権限は無く、執行部側として様々な議員要求への対応が適正になされることで、二元代表制の意義が浸透し議員の意識改革が図れる。

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
評価	判断理由	評価	判断理由	
1 目的達成度(中・長期目標に対する)	3	市議会だよりの頁数確保は達成可能だが、情報内容の充実には議員に期待するところが大きい。政務調査費透明化は、これも議員の自律・自浄作用に期待するところが大きい。	3	単独発行により紙面確保はできているので、審議状況等市民の要求に添う、詳細な情報内容を発信すべく検討する必要がある。政務調査費はより透明度の高いものにする必要がある。
2 事業構成の妥当性	3	議員、市民それぞれに対する施策・対応を実施する上で妥当である。	3	施策・対応を図る上で妥当なものである。
3 施策の有効性(評価年度の目標達成)	3	市議会だよりの単独発行により情報提供量は格段に増えた。政務調査費は、事務所の案分明細を必須条件としたため透明化が進んだが、電話代等の透明化が進んでいない。	3	議会からの公的な情報発信手段として、議会だよりを客観的により詳細な内容にする必要がある。
担当への指示(今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	議会だよりの記事を過去の報道でなく、現在の課題への論点や議員の考え、意見が広報できないか。「議員の自主編集」で更なる内容充実に向け編集委員会に紙面作りの改革に目を向けてもらうようリードできないか。また、傍聴者へのアンケートなどで生の声を聞く必要がある。			
二次評価者コメント	市議会だよりの発行も一定のスタイルで定着しつつあるが、マンネリ化することなく内容充実にとさらなる研究努力が必要である。また、会派制を導入し会派結成も進んでいるので、会派による市政報告会などを推進し、市民に身近な議会として情報交換等により活発な市議会に発展さすべきである。			基本施策への貢献度
役職 議会事務局次長 氏名 寺山 悦夫				4やや高い

施策名 その他事務管理（議会）

（平成19年度事業）

⑥ 施策構成事務事業の評価（続き）

記入しきれない場合の続き

施策を構成する 事務事業		事務事業 評価結果 A～E (高～低)	細事業	事業分類	事業費等（単位：千円，人）									H20 当初予算 直接 事業費		
					H17			H18			H19				施策への 貢献度 ☆☆☆ ☆☆ ☆	予算の 重要性 \$\$\$\$ \$\$\$ \$\$ \$
					直 接 事業費	人件費	人工数	直 接 事業費	人件費	人工数	直 接 事業費	人件費	人工数			
4	市議会広報事業	C	広報・広聴事務	その他単市	11	3,023	0.35	21	1,713	0.25	2,266	3,192	0.37	☆☆☆	\$\$	3,222
5	市議会調査事業	B	委員会視察事務	その他単市	2,456	2,108	0.23	2,122	1,823	0.20	2,034	1,067	0.13	☆☆	\$\$\$\$	3,360
			議員政務調査支援事務	単市補助給付	2,576	384	0.04	4,674	380	0.04	5,647	951	0.11	☆☆	\$\$\$\$	7,500
			資料収集事務	内部管理	468	1,763	0.18	412	1,063	0.11	348	2,675	0.38	☆☆	\$\$	437
			計		299,024	50,730	5.70	200,961	49,880	5.90	176,226	33,177	4.25			185,669